

平野万里著
 謝野晶子鑑賞の序

12行
 36字

この書とその著者

9 金かおりに
 紙んて下さい

以下

10本

同門の末席といふ因縁によつて、この如著に
 席を置くことを命ぜられちのは自分の光榮と
 するところである。

今は故人であり、工部~~博士~~士平野久保代を知
 る人はあつてし、詩歌人平野萬里を知る人は
 追々となつてゐるであらう。さうして人
 人は、この著書のこの著を見て或は異とする

⑦ 484 品子鑑賞

1.

昭和二十三年歲末の一日

後學

佐友春夫記す